

みとや世代間交流施設「ほほ笑み」を活用した世代間交流事業

～ささやかれている地方消滅に「消えてたまるか！」で挑戦しています～

雲南市 三刀屋地区まちづくり協議会

1 三刀屋地区の概要

雲南市のほぼ中央に位置し、三刀屋インターチェンジ付近の商業施設エリアと旧市街地エリアの2つに分かれている。旧市街地には、三刀屋川兩岸約3kmにわたる「桜並木」（緑の桜「御衣黄」が有名）、「三刀屋天満宮」、「平和を」を世界に訴え続けた偉人の「永井隆記念館」などがある。

人口：2,554人 世帯数：973人

高齢化率：30.3%

学校等：保育所、中学校、高校

2 事業の趣旨

地域活性化の小さな拠点として地域自主組織「三刀屋地区まちづくり協議会」、就労支援A型事業所「エコカレッジ」、訪問看護ステーション「コミケア」の3者が共同運営する『みとや世代間交流施設「ほほ笑み」』を核とした取り組みにより、地域の若者（中・高校生等）の地域活動への参画と居場所づくりを目指す。

【取組方針】

地域づくりは人づくりと位置づけ、「ほほ笑み」を活動拠点にキャリア教育を意識した取り組みを柱とした。

(1)小・中・高校生と高齢者との世代間交流

(2)近くにある三刀屋高校の学習支援

(3)小中学生を対象とした学習の場

3 具体的な取組内容

(1)三刀屋高校生との交流

①三刀屋高校で地域づくり志望の生徒に地域の課題について説明

②三刀屋高校生が地域のサロンに参加

③三刀屋高校生5人が小学生のサマーキャンプのスタッフとして参加 など

(2)中・高校生に学習の場（ほほ笑み）を提供

①夏休みや放課後の自学自習

②大学生の研究支援（地域づくりの活動状況を説明） など

(3)「ミトヤミライ」プロジェクト

①三刀屋地区まちづくり協議会と三刀屋高校との空き家を活用した町づくりに関する共同研究

②共同研究により制作した「ミトヤミライ 2116 人生ゲーム」の活用

③三刀屋高校生自主企画の支援

・小学生とのクリスマス会

・三刀屋の良さをみつけてみない会 など



サマーキャンプに参加する高校生



「ほほ笑み」で自学をする中学生



地域の課題、解決の学び方を人生ゲームで



高校生自主企画「中学生と地域の皆さんと
の三刀屋の良いところ探し」



高齢者の方と三刀屋の現状を語り合う



完成した「ミヤマライ 2116 人生ゲーム」
～過去・現在・未来(100年後)を楽しむ～



男性限定サロンで人生ゲームを楽しむ

4 評価と成果

地域にある「ほほ笑み」を拠点として事業を行ったことで、地域の高齢者と若者が交流し、より地域を深く知ることのでき、地域についての学び・課題解決への意識が高まった。また、保護者も安心できる居場所を実現することで、若者、親世代、高齢者相互の交流・理解が進み、地域全体での意識向上など、人づくりにつながった。

5 今後の課題と見通し

引き続き「ほほ笑み」を拠点に世代間交流事業を行っていくためには、施設管理やサロン・交流イベントなどのスタッフの確保が課題であるが、今後は、さらなる人づくりを推進していくために、小・中学生を対象とした、地域の方による「地域についての学び」や、教員OBによる「学習」の場も提供できるように働きかけをしていきたいと考えている。

文責：三刀屋地区まちづくり協議会 集
落支援員 倉内 敦子